



附属図書館・部局図書室

ご来館の際はウェブサイト、又はお電話でご確認ください。

川内キャンパス

- 本館 (平日) 8:00~22:00 022-795-5943
(土日祝) 10:00~22:00

- 文学研究科・文学部図書室 022-795-6008
- 教育学研究科・教育学部図書室 022-795-6109
- 法学研究科・法学部図書室 022-795-6240
- 経済学研究科・経済学部図書室 022-795-6328
- 東北アジア研究センター図書室 022-795-6081

星陵キャンパス

- 医学分館 (平日) 9:00~20:00 022-717-7978
- 歯学研究科・歯学部図書室 022-717-8324



青葉山キャンパス

- 北青葉山分館 (平日) 9:00~20:00 022-795-6372
- 理学研究科数学専攻研究資料室 022-795-6410
- 理学研究科物理学専攻図書室 022-795-6492
- 工学分館 (平日) 9:00~20:00 022-795-4021
- 情報科学研究科数学図書室 022-795-4636
- 農学分館 (平日) 9:00~20:00 022-757-4026

片平キャンパス

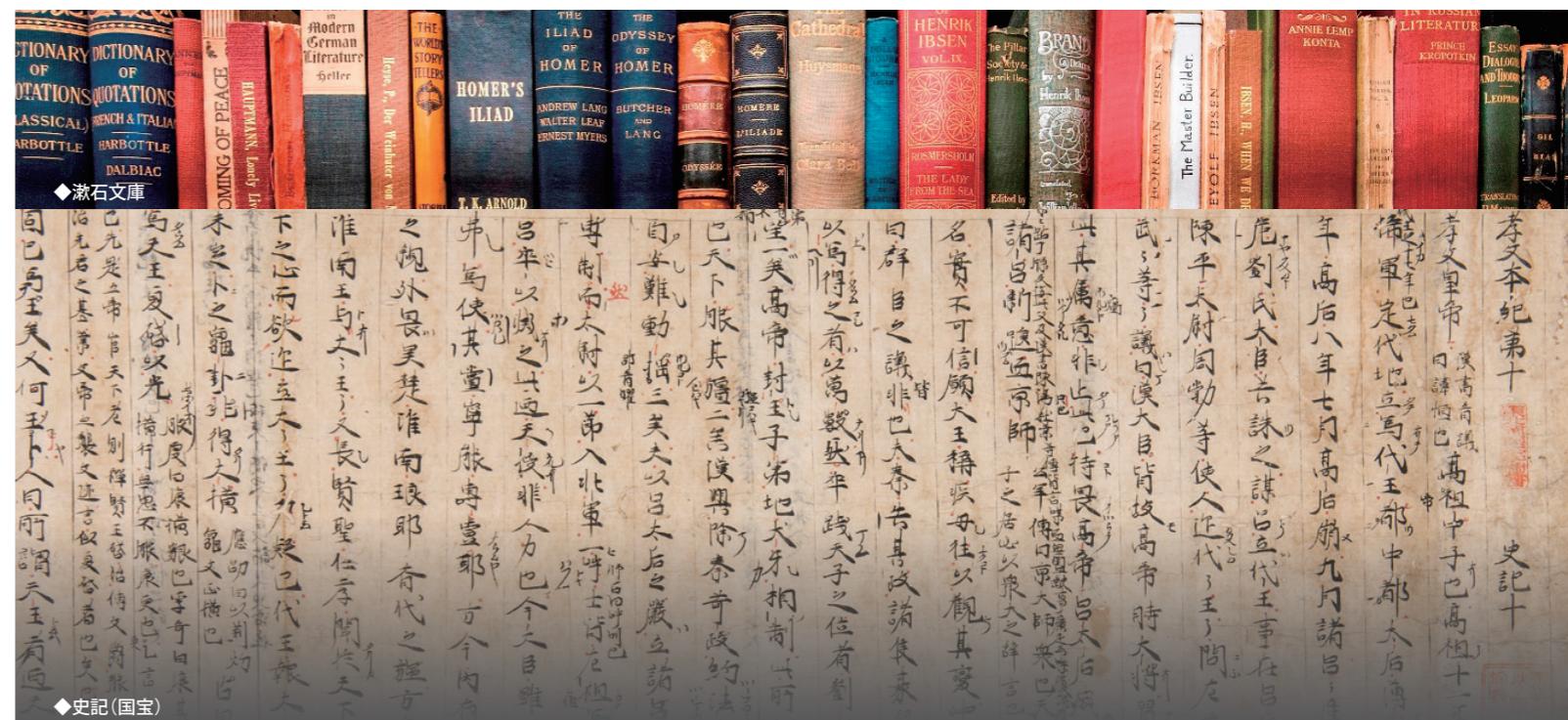
- 法政実務図書室 022-217-4858
- 金属材料研究所図書室 022-215-2188
- 流体科学研究所図書室 022-217-5321
- 電気通信研究所図書室 022-217-5423
- 多元物質科学研究所図書室 022-217-5656



東北大学附属図書館

概要 2017

Tohoku University Library



使命

東北大学附属図書館は、本学における学術情報流通の中核として情報基盤の重要な部分を担い、研究者・学生及び職員が必要とする情報資源の収集、創成、組織化並びに提供を通して本学における教育・研究活動を支援する。
さらに、国内外並びに地域社会における学術研究の進展及び文化の振興に寄与する。(ミッション声明より)

概要

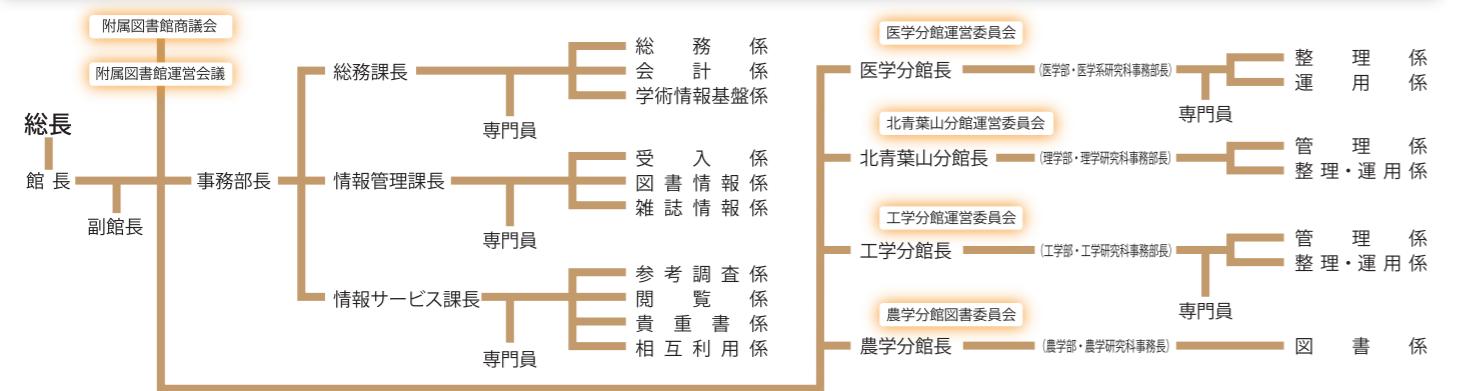
東北大学附属図書館は、本館と医学分館、北青葉山分館、工学分館並びに農学分館で構成されています。また、学部・大学院研究科・附置研究所等には部局図書室が設置されており、附属図書館はこれら部局図書室と連携・協力しながら、本学の教職員・学生並びに学外の研究・教育機関への情報サービスの中核的役割を果たしています。

沿革

明治40(1907)年6月	東北帝国大学設置
44(1911)年6月	図書館設置
大正4(1915)年7月	医科分館(現・医学分館)設置
5(1916)年6月	官制改正により図書館を附属図書館に改称
13(1924)年10月	書庫(鉄筋コンクリート5階建て)完成(現存せず)
14(1925)年12月	附属図書館本屋(現・史料館)竣工
昭和22(1947)年9月	農学部図書室開設
24(1949)年5月	新制・東北大學発足
29(1954)年1月	商議会設置
32(1957)年4月	富沢分校分館設置
33(1958)年9月	医科分館を医学部分館に改称
38(1963)年9月	富沢分校分館が移転し、川内分校分館に改称
39(1964)年4月	記念資料室(現・史料館)設置
40(1965)年4月	教養部分館(旧・川内分校分館)設置
7月	附属図書館に部課長制施行
41(1966)年1月	国連寄託図書館に指定
45(1970)年1月	調査研究室設置
11月	OECD寄託図書館に指定
47(1972)年4月	工学部中央図書室開室
11月	教養部分館廃止、本館に統合
48(1973)年11月	医学部分館を医学分館に改称
49(1974)年4月	本館竣工
53(1978)年4月	本館全面開館
12月	農学部分館(現・農学分館)設置
54(1979)年4月	農学分館設置
55(1980)年11月	農学部分館を農学分館に改称
57(1982)年4月	医学分館、外国雑誌センター館(医学・生物学系)に指定
58(1983)年9月	オンライン情報検索サービス開始
59(1984)年1月	農学分館竣工
60(1985)年3月	工学分館竣工
12月	北青葉山分館設置
EC資料センター(現・EUI)に指定	EC資料センター(現・EUI)に指定
医学分館竣工	青葉山新キャンパスに青葉山コモンズ竣工
北青葉山分館竣工	農学分館(雨宮キャンパス)閉館
	農学分館(青葉山コモンズ内)開館

昭和62(1987)年1月	学術情報センター(現・国立情報学研究所)と接続
9月	図書館情報処理ネットワークシステム全面稼動
平成元(1989)年11月	本館2号館竣工
2(1990)年5月	本館2号館開館
7(1995)年9月	図書館ホームページ運用開始
9(1997)年2月	電子ジャーナルサービス開始
12(2000)年11月	記念資料室廃止(史料館に転換)
12月	副館長設置
15(2003)年4月	本館日曜・祝日開館開始
16(2004)年4月	国立大学法人化
19(2007)年3月	東北大学機関リポジトリTOUR公開
4月	e-DDS(電子文献デリバリーサービス)開始
6月	キャンパス間資料搬送サービス開始
9月	東北大学創立100周年
11月	江戸東京博物館で展示会を開催
20(2008)年1月	東北大学創立100周年記念展示「東北大学の至宝」展
21(2009)年2月	大学創立100周年・漱石朝日新聞入社100年・江戸東京博物館15周年記念「文豪・夏目漱石」展
4月	仙台市博物館で東北大学創立100周年記念展示「東北大学の至宝」展開催
22(2010)年3月	仙台文学館で東北大学創立100周年記念特別展「学都に息づく夏目漱石の精神」開催
23(2011)年3月	本館耐震改修工事終了
6月	本館開館時間を22時まで延長
24(2012)年3月	日本数学会出版賞受賞「東北大学和算ポータル」
11月	東日本大震災(3.11)
26(2014)年10月	附属図書館創立100周年
27(2015)年12月	震災ライブライ一開設
28(2016)年6月	本館ラーニング・コモンズ開設
12月	本館リニューアル開館
29(2017)年4月	医学分館創立100周年

組織



附属図書館長
平成24年4月～

植木 俊哉
理事・法学研究科教授(国際法学)

医学分館長
平成28年4月～

北本 哲之
医学系研究科教授(病態神経学)

工学分館長
平成29年4月～

高橋 弘
環境科学研究科教授(地球開発環境学)

附属図書館副館長
平成25年10月～

西尾 剛
農学研究科教授(植物遺伝育種学)

北青葉山分館長
平成29年4月～

小原 隆博
理学研究科教授(惑星電波物理学)

農学分館長
平成29年4月～

藤井 智幸
農学研究科教授(テラヘルツ生物工学)

※平成29年4月1日



カレント・トピックス 平成28(2016)年4月～平成29(2017)年3月

アクティブラーニング



社会貢献



学習支援



グローバル学習支援



所蔵コレクション



類聚国史 (国宝) 卷第二十五 (一巻) 平安時代末期

菅原道真が六国史(古代日本の正史)の記事を主題別に分け編纂した書。本館所蔵の巻第二十五は、類聚国史の写本として現存するものの中で最古のものとされている。



狩野文庫 大正元(1912)年受入
京大教授、旧第一校校長を歴任し、また安藤昌益を発掘したことでも有名な狩野亨吉(1865-1942)の旧蔵書で国宝2点を含み約108,000冊、和漢書で構成される。



漱石文庫 昭和18(1943)年受入
文豪夏目漱石(1867-1916)の旧蔵書約3,000冊、英文学関係の図書が多く、書本文も多数ある。なお、日記や書簡目録、試験問題その他の断片資料も含まれている。



和算関係文庫
初代図書館長の林鶴一や、藤原松三郎、岡本則銘等の旧蔵書で約18,000冊のコレクション。単に和算書のみではなく(天文書・曆算書・測量関係書等も含まれ)、江戸時代数学書のコレクションとしては他に類をつけない充実した内容となっている。



西藏大藏經 (デルケ版) 大正12(1923)年受入
ナルタン版・北京版・チヨネ版と並び称される西藏聖典。とりわけ、このチヨネ版は印刷の清楚なことで知られる。内容はカンギヨル(経文そのもの)とテンヌユル(注釈や論議)の二部からなり、前者は赤色で印刷されている。

その他、主要文庫

阿部(次郎)文庫、晚翠文庫、大類(伸)文庫、児島(喜久雄)文庫、石津(照靈)文庫、梅原(未治)文庫、矢島(玄亮)文庫、柳田(民藏)文庫、長谷田(泰三)文庫、和田(佐一郎)文庫、須永(重光)文庫、木下(彰)文庫、高柳(眞三)文庫、宮田(光輝)文庫、伊東(信雄)文庫、河野(与一)文庫、中野(正)文庫、中村(吉治)文庫、平山(謙)文庫、松本(金寿)文庫、柳瀬(良幹)文庫、金谷(治)文庫、ヴァルヘルム(Wilhelm Wundt)、ケーベル文庫(Raphael von Koeber)、シュタイン文庫(Friedrich Stein)、ゼッケル文庫(Emil Seckel)、チーテルマン文庫(Ernst Zitelmann)、ヴュルフェル文庫(Georg Wurfel)、秋田史料、晴山文書、齋藤義之助史料

江戸の遊び けっこう楽しいエコレジャー

絵葉書 タイムトラベル

東北大の至宝

はっぴいさんぽう

江戸のサイエンス